

温故創新 豊中らしさを創る Vol.22

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

<http://matsuoka-akimichi.net>

無所属 30歳

豊中市議会議員



編集・発行／豊中から日本を動かす会

まつおかあきみち

松岡信道と、もっと豊中市！

校庭緑化のその後。

「緑の都、豊中市」と言われたのは、今は昔の物語。市内全域が市街化地域となり、緑地が宅地へと変化しています。そんな豊中市であつても、自然と触れ合う空間を創っていくべきだと思っています。

私はこれまで、議員として南丘小、寺内小、青年会議所として庄内西小、千成小の校庭緑化に関わらせていただきました。芝生の維持管理は、スプリンクラ

ーが自動的に散水するため、負担は大きくありません。ボランティアのみなさんが協力して芝刈りを定期的に行ってくださいています。



子どもたちの変化

運動場が芝生になると、子どもたちの身体の動かし方も変わりました。運動場でお弁当を食べたり、相撲をしたり、服が汚れることを気にせず、身体全体をつかって運動をしています。冬の寒くなつた時でさえ、裸足になつて駆け回っている姿を見て「子どもは風の子、元気な子」という言葉を思い出し、微笑ましかったです。

運動場の変化

芝生の運動場にはアントウムシやアカトンボが集まり、虫を食べる鳥たちも飛来して、自然学習の場になっています。

夏場の土と芝生の温度差は10℃近くあり、木陰で寝ている児童もいて、学校生活は過ごしやすくなっています。



地域の集いの場に。

老若男女が芝生を活用

維持管理のため、学校が地域に開放され、地域で芝生を有効活用する動きが出てきました。地域の高齢者が芝生の上でグラウンドゴルフをしたり、乳幼児がいるお母さん方が集まつて子育てサロンを開催しています。

地域住民のみならず、幼稚園や保育園との連携もはじまりました。ご近所の園児のみなさんが小学校の芝生で遊び、低学年の小学生と交流したりしています。

地域活性化の核に

芝生が住民に愛される集いの場となり、芝生の維持管理費を捻出ししようと、夏祭りや地域行事にPTAやボランティアのみなさんが出店しています。

校庭緑化をきっかけとして、人が出会い、交流し、つながっていくことで、地域が活性化することを実感しました。

校庭緑化がもたらしたもの。

26歳で立候補した時の温故創新に「付属池田小学校の事件以来、校門は閉ざされ、卒業生や住民はもちろん、保護者ですら学校に入りにくくなり、学校内で生徒が大人と話す機会が減っています。私たちが子ども頃に『校内で大人の人を見かけたら挨拶しましょう』と先生から教わつたこと、いつの時代も変わらない大切なことを学ぶ機会が失われつつあります。」と書いています。

今も安全のために校門は閉まっていますが校庭の芝生化によって、地域住民が学校に出入りする大きなきっかけとなりました。子どもたちにとって、芝生で大人と一緒にすごすことは、大切な教育の機会となっています。

園庭の芝生化が施政方針に

大阪府の助成制度によって、地域主導で校庭緑化が推進されてきました。豊中市内5つの小学校で運動場の一部が芝生になり、一定の評価がされました。そこで、大阪府の助成がない市立幼稚園について、豊中市は独自で芝生化することが決まりました。22年度に1園が芝生化され、園庭緑化の効果について検証していきます。



略歴

市立 しんでん幼稚園
市立 南丘小学校
市立 第九中学校
府立 北野高等学校
同志社大学法学部政治学科
池田市長インターンシップ修了
茨木市議インターンシップ修了
箕面市公募委員(公共下水道)
大阪府信連職員(JAバンク大阪)



現在

無所属
豊中市議会議員(最年少 30才)
総務常任委員会
行財政改革・地方分権特別委員会
主なボランティア活動
豊中ラグビースクール
豊中地区 BBS 会
豊中青年会議所

新とよなか創政記

「サービスカットではない財政再建」

財政再建のイメージは、行政サービスのカット、人件費のカットなど、削減するイメージが強いですが、カットばかりが財政再建の方法ではありません。これまでも金融の視点から返済方法を見直すことで、支払利息を減らし、サービスをカットしない財政再建策を提案してきました。

また、赤字になつている事業を廃止するのではなく、事業を見直して黒字化することで、サービスを存続しながら財政を再建することも一つの方法です。

クリーンスポーツランド線という曾根駅〜ごみ処理場・余熱利用施設を結ぶバス路線（阪急バス）があります。平成19年度の利用状況は一便あたり2人で、年間の運行経費補助は481万円で、不採算路線となつています。平成10年に公共施設へのアクセス確保と交通不便地の解消を目的として、豊中市が運行経費を補助してバス路線の開設を要請して実現したので、「廃止＝サービスカット」となり、各方面から不満も噴出します。

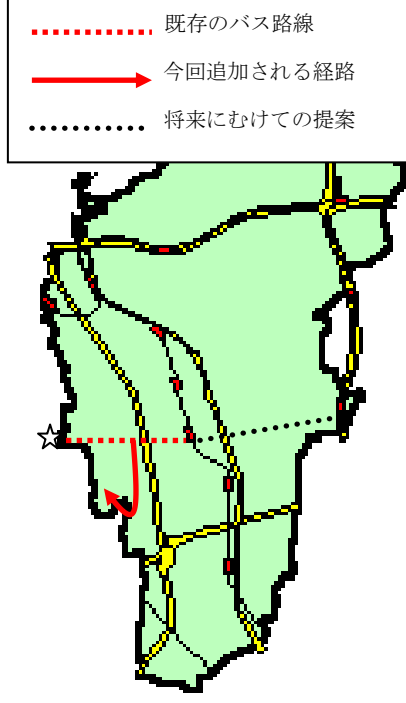
そこで、私はバス路線の廃止ではなく、運行経費補助をできるだけ少なくする、さらには儲かるバス路線にするように提案してきました。つまり、現状の路線と停留所では利用率の向上は期待できませんが、路線と停留所を追加して、住民に便利な路線にすれば、利用が促進され、黒字転換できるかもしれません。そうすれば、サービスカットではない財政再建につながります。

平成20年に提案し、平成21年は調査研究、計画作成などを行い、平成22年12月よりコミュニティバスとして新路線で運行が始まることになりました。市民のみなさんが自家用車から公共交通機関の利用へ転換くださると、二酸化炭素の排出量を抑制することにもつながっていきます。

二年間の試行運転期間で採算が合わなければ、廃止もやむをえません。平成21年度の調査では市の負担軽減につながるという採算予測をたてています。私は利用者の増加と黒字転換を目論み、（ごみ処理場☆に新炉が建設された後に）緑化される計画になっている現在の焼却炉跡地をただ緑化するのではなく、球場や競技場など芝生のあるスポーツ施設にするべきだと、昨年度のクリーンランド議会において提案しています。豊中市は第一回高校野球大会の開催地であることをはじめ、高校ラグビー、サッカー、アメリカンフットボールの発祥地でもあり、スポーツ都市としての豊中市のブランド化にも資するわけです。

さらに今年度の総務委員会において、中部地域には市を横断するバス路線がないことから、曾根駅と緑地公園駅を結ぶバス路線を将来的に新設するべきだと提案しています。服部緑地にはスポーツ施設はもちろん、センチュリー交響楽団が本拠地とする野外音楽堂や日本民家集落博物館がありますが、阪急沿線からはアクセスが悪く、駐車場がいつぱいになることもあり、二酸化炭素の排出抑制の視点から公共交通機関が必要であると考えています。

財政再建は直面する課題ではありますが、場当たり的なカットだけではなく、将来に向けた夢のある話の第一歩として、未来志向で取り組んでいきたいと思えます。みなさんも未来志向で一緒に動きはじめませんか？



ポストインクのお願い。
お住まいの向こう三軒両隣、マンションの集合ポストにこの温故創新を配布してください。お手伝いくださる方は左記までご連絡ください、よろしくお願ひ致します。

街頭活動エリアを拡大中。
豊中市全域を活動エリアとして、駅前を中心に街頭活動をしています。今後は市内全駅を目標にエリアを拡大していきますので、知人や友人にお声かけいただけると嬉しいです。よろしくお願ひ致します。



駅前街頭演説をする様子

松岡のミカタを募集します。
みなさんのご支援のおかげで、ここまで活動できました。本当にありがとうございました。ひきつづき、議員活動をつづけていくため、松岡を応援してくださる方は、ぜひご連絡ください。一人でも多くのミカタがいてくださると心強いです。よろしくお願ひ致します。

後援会の案内ができました。
後援会のパンフレットをお配りしておりますので、お声かけください。ミカタになっていただける方、知人や友人にご紹介いただける方には、郵送、持参させていただきます。



市議会の本会議場で討論する様子

松岡あきみちの通信簿 みなさんからの評価をいただいています、よろしくお願ひします！！

温故創新を読んでのご意見感想、今後、取り組んで欲しいことなどをお聞かせください。

男・女 () 歳 連絡先 () ※返信が必要な方のみ

※ご意見感想をお聞かせください。
TEL:06-7178-7785 (携帯へ転送します)
FAX:06-6871-0632 (後援会事務所)
Mail:office@matsuoka-akimichi.net
※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。